

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	廃棄物・ごみ処理設備の環境評価 WG	主 査 名：関 五郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会	委員長名：銚井修一
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	昨年度纏めた報告書をもとに、建物から排出される廃棄物及びごみ処理設備の計画を行うための計画手法を継続研究することを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	関五郎(日建設計)井田光俊(office I・D・A)大塚雅之(関東学院大) 大橋一正(工学院大学)井澤勇八(住商ビルマネージメント)田村誠一(都市環境エンジニアリング)磯部絵美(都市環境エンジニアリング)輿水知(加倉工業) 間宮 尚(鹿島建設)新村浩一(三機工業)豊貞佳奈子(東陶機器)青山元(富士重工)	
設置 WG (WG 名:目的)	廃棄物・ごみ処理設備の環境評価 WG	
2004 年度予算	45,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004.5.13(9)6.22(8)7.21(9)9.22(8) 10.27(7)12.16(4) 2005.1.27(8)3.10(8)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>昨年度纏めた報告書をベースに、具体的な実績データの継続収集及び最新のごみ処理設備の動向等、実例を元に環境社会に貢献対応すべく継続研究の実施が行われ、運用面からのデータ収集が得られた。</p> <p>来年度から本 WG は小委員会として建築環境分野のごみ処理施設計画のためのアカデミックスタンダード整備における基礎データ収集及び計画手法について継続研究を行っていく予定である。</p>
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初予定の基礎データの継続収集及び実際の運用面からの計画ポイント等について十分な議論ができた。</p> <p>来年度から本 WG は小委員会として建築環境分野のごみ処理施設計画のためのアカデミックスタンダード整備における基礎データ収集及び計画手法について継続研究を行っていく予定である。</p>
その他評価すべき事項	

